

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 石鳥谷会	代表者	内館 憲二	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能ホームの特徴である「通い」「宿泊」「訪問」の3つのサービスを柔軟に組み合わせ、利用者様が住み慣れた地域で生活を送れるように支援する事業所である。また、利用者様のみならず、ご家族様の状況に応じて通い時間を調整するなど、個人個人の状況に合わせて、画一的ではないサービスの提供を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム ほしめぐり	管理者	中居 信仁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	人	1人	人	3人	2人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も会議は日中に行う。会議の最中に利用者対応が必要になった場合は、予め対応する職員を決めておき、集中して会議に臨める環境を整備する。	会議は全て日中に開催した。会議中に利用者対応が必要になった場合は、発言をしていない職員が対応することにして、集中して会議に臨み、滞りなく進行できるようにした。	会議に出席できなかった職員であっても、報告書の決済が下りる前に実施をしなくてはならない事項が発生した場合は、速やかに伝達しつつ、その内容を常に確認できる方法があると、より望ましいのではないかと。	会議を日中に開催することは今後も継続する。会議の中で決定した内容であって、至急取り組まなくてはならない事項があれば、パソコン上の申し送り等を通して全職員に速やかに通達しつつ、記録としていつでも確認できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	芝生スペースを囲うネットに、ほしめぐり内のトイレが使用可能であると記載した掲示物を貼り、事業所内に入りやすい環境を整備する。	芝生スペースを囲うネットに、事業所内のトイレは使用可能であることを記載した掲示物を吊るした。ただ、実際に事業所内のトイレを借りて来た方は少なかった。	芝生スペースを利用している方がいるのであれば、お互いに挨拶をしようことで、より馴染みの関係が築くことが出来るのではないかと。	芝生スペースを利用している方がいれば管理者・主任を中心として職員は率先的に挨拶をし、事業所内に入りやすい環境を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	法人内を回覧している、市の広報誌やお知らせ等について、ほしめぐりも経由するようにする。予定されている行事等を容易に把握できるようにし、地域とかかわりを持てるようにする。	法人内を回覧している市の広報誌等は、ほしめぐりも経由した。開催される予定の行事の他、公共工事による交通規制の範囲などは把握しやすくなった。	独居高齢者の方を対象とした「すみれ会」等に職員が参加することで、行事以外の催しであっても、事業所から地域に出向いてかかわりを作れるのではないかと。	「すみれ会」以外にも、地域包括支援センター主催の研修回答がある為、それらに職員が出席し、行事以外のかかわりを持つ機会を確保する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	好地地区の洋菓子店で限定販売するケーキを購入したいなど、様々な要望がある。個々の求めに出来る限り応えることで、地域に出向く機会を確保する。	利用者個々にどのようなことをしたいかアンケートを取った。外出の希望が多かったこともあり、お花見ドライブに出かけた。皆様大変喜ばれていた。	利用者個々にアンケートを取ること、ひとりひとりどのようなことをしたいかを把握することができ、個別支援の充実に繋がったと思う。	外出をしたいという要望ひとつとっても、その内容はドライブ、産直めぐり、外食等、様々である。今後もそういった個別の要望に応えることで、地域に出向く機会を確保する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	困難事例が生じた場合は、運営推進会議で報告した上で、解決策等について有効な手立てがないか助言をいただき、解決策を模索する。	令和6年度は地域住民の方からほしめぐりの利用者様に関する苦情が寄せられた。運営推進会議を通して委員の皆様と情報共有を図り、その件は速やかな解決を得ることが出来た。	認知症の方、独居高齢者の方は今後も増加していくと予想される。困難事例が生じた場合であっても、お互いを知る関係を作れていれば、解決に向けて共同した取り組みが出来ると考える。	困難事例が生じた場合だけでなく、困難事例に発展することが予測される場合も含めて、運営推進会議で報告し、未然に解決する手立てがないか検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も避難訓練を行う場合は、各職員が様々な役割を担当するようにする。また、BCPの見直しも必須業務となる為、経営検討会で出た内容も各職員へ報告する。	避難訓練は2回実施した。各職員は訓練ごとに別の役割を担い、様々な事態に対応できるように取り組んだ。経営検討会の議事録は全ての職員が閲覧しやすい場所で保管している。	今後も各職員が様々な役割を果たすことが出来るように、訓練の計画を立案することが望ましい。	避難訓練については、全体を通して行うだけでなく、消防署への通報のみ、他部署への連絡のみ、と場面を分けた訓練を実施し、各職員が場面ごとに自身の役割を把握できるように取り組む。